

広域図



周辺図



アクセス

- 徳島阿波おどり空港からタクシー・バスで40分
- JR徳島駅からタクシー・バスで15分
- JR蔵本駅から徒歩5分
- バスは「県立中央病院・徳島大学病院前」または「総合メディカルゾーン バス停」で下車

 徳島大学病院
Tokushima University Hospital

卒業臨床研修センター

770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1
TEL. 088-633-9359 / FAX.088-633-9358
HP. <https://www.tokudai-sotsugo.jp/>
E-mail. bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院公式SNSなど



徳島で、やろう



 2027 徳島大学病院
医師臨床研修プログラム

<https://www.tokudai-sotsugo.jp/>



徳島大学病院長
西良 浩一

Let's begin!

私が子供の頃、「飛び出せ青春」というドラマがありました。主人公の河野先生が、Let's begin! とも言っていました。9歳の小学生であった私には意味がわかりませんでした。しかしながら、この言葉は非常に耳に残ってありました。中学生になり英語を勉強し意味がわかり、さらに好きになりました。

本院は、徳島大学というアカデミアの病院です。アカデミアとしての病院の役割は、現存の最先端医療を実践することはもとより、未来のために新しい医療を創造することです。それを英文論文として全世界に発信しております。

当院の卒後臨床研修センターは、医師としての第一歩を踏み出した初期研修医の臨床研修を支援することを目的としております。徳島大学病院はアカデミアを基盤としているため、教育、研究そして最先端医療の研修には定評があります。それに加え、日本各地の病院と提携し、研修医の皆様が2年間の初期研修を充実した期間としていただくようなオーダーメイドの研修を可能としております(AWAすだちプログラム)。

さて、徳島大学病院は、徳島県最大の救命救急センターを有する隣の県立中央病院と、メディカルブリッジという橋で連結されており、総合メディカルゾーン(MZ)と呼ばれております。トータル1100病床数を超える、中国四国でも最大規模となります。このMZを基盤とした研修をより良くするため、毎年進化させております(MZ重点研修プログラム)。プライマリーケア・救命救急を得意とする第一線病院と、最高水準の高度医療を得意とする大学病院が連携する「命の最前線・メディカルゾーン」で最高の研修が行えます。

当院の卒後臨床研修センターのキーワードは、「プライマリーケアからアカデミアまで」。2年間で、今後の医療人としての生涯の基盤となるような研修を自信を持って提供いたします。徳島大学病院で医師としての人生のスタートを切りませんか？

徳島大学病院の基本理念・目標

【理念】

生命の尊重と個人の尊厳の保持を基調とし、先端的で、かつ生きる力をはくむ安全な医療を実践するとともに、人間愛に溢れた医療人を育成する

【目標】

1. 人間尊重の全人的医療の実践

生命科学の正しい理解と生命の尊厳に対する深い認識に立脚し、疾患に悩む人の人格を尊重し、全人的医療を安全に実践する

2. 高度先端医療の開発と推進

先端的医学・歯学研究の推進を通じて高度先端医療の開発および実践を安全に進めることにより、人類の健康増進に寄与する

3. 高い倫理観を備えた医療人の育成

すべての医療活動において、常に個人の人格や権利を真摯に考え、尊重し、献身的な思いやりを持った医療人を育成する

4. 地域医療および社会への貢献

社会に開かれた病院として、地域医療機関との密な連携、国内外との人的交流の促進、あらゆる組織との共同研究の推進を通じて社会貢献を行う

臨床研修の理念・基本方針

【理念】

医療人としての人格と倫理性を涵養し、全人的な診療能力を有し、医学・医療の社会的ニーズを認識できる医療人を育成する

【基本方針】

1. 人間尊重の全人的医療の実践

すべての医療活動において、常に個人の人格や権利を尊重し、思いやりのある全人的医療を実践し、プライマリーケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につける

2. チーム医療の実践

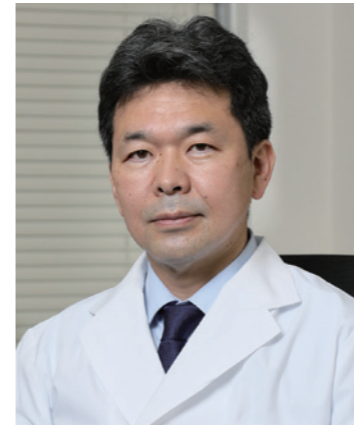
多職種が連携した実践診療の中で職種間の相互理解を図りチーム医療を実践する

3. 教育機関として次世代のリーダーの育成

主体的に診療に参加する体制のもと専門性の高い医療を経験し、また研究倫理や臨床研究の仕組みを理解する

4. 地域医療および社会への貢献

研修協力病院・協力施設と連携することで医療人としての知見を深め、在宅医療・介護から先進医療までを理解できる医療人を育成する



卒後臨床研修センター長
大藤 純

徳島大学病院卒後臨床研修センターでは、研修医の皆様が充実した臨床研修が受けられるよう、さまざまな活動を展開しております。徳島大学病院の全診療科のご協力に加え、徳島県内および県外の多数の医療機関と連携し、初期研修医の多様なニーズに対応した魅力あふれる研修プログラムを作り上げています。指導体制が大変充実しており、研修医ひとりひとりの声を大切に、それぞれの研修医にマッチした研修スケジュールを作成することで、非常に満足度の高い臨床研修を実現しています。

初期臨床研修で習得すべきことは、プライマリーケアを中心とした基本的な診療能力に加えて、医療人としての人格と倫理観です。これらは、将来どの診療科に進む上でも必須の要件です。初期臨床研修期間は、大学を卒業し、初めて医師として患者さんに接する修練の期間となります。臨床診療で経験したことすべてが勉強となり、日々成長することができません。当然、初期研修医は技術も経験も不足するため、指導医のもとで診療をする立場です。日々ご指導頂く指導医への礼儀や感謝を忘れてはいけません。また、初期研修医による診療を受けて下さる患者さんへの誠意と責任感を常に心に刻み、診療に従事してほしいと思います。

徳島大学病院は、特定機能病院として、世界基準の高度医療を日々実践しています。各領域の第一線で活躍する医師も多く、教育体制が充実しています。高度医療を支える医療リソースは豊富で、将来選択する高度専門医療を早くから体験できます。また、豊富なシミュレーション装置を用いたトレーニングや各領域の指導医によるセミナー・実習も数多く開催されていますので、充実した臨床研修を経験できると思います。

一方で、初期研修で必要とされるcommon diseaseに対する診療経験や地域医療の経験を十分に積むためには、地域中核病院や診療所での研修も欠かせません。当センターの研修プログラムは、高度医療を担う大学だけでは経験できない、実践的地域医療を担う医療機関と連携し、幅広く研修先を選択できることも魅力です。さまざまな医療機関で活躍するエキスパートの先生方と診療を共にし、多くの知識と経験を得ることは、将来のキャリア形成にも役立つと思います。

このように当院の研修プログラムは、大学病院と地域の病院が医師育成という目標を共有し、それぞれの立場から研修医の教育を支え、より実践的な研修支援を行うものです。多くの研修医が集い、切磋琢磨しながら、楽しく充実した研修が行えるよう、当センターは全力で皆様の活動をご支援いたします。研修医の皆さんの成長と活躍こそが我々スタッフ一同の誇りです。頑張ってください!

センタースタッフ(教員)

研修医達の成長が私共の誇りです。



特任助教

蔭山 彩人

特任助教

行重 佐和香

卒後臨床研修

センター長・教授

大藤 純

副センター長(内科)・

特任講師

門田 宗之

特任助教

水口 誠人

令和9年度 徳島大学病院 基幹型臨床研修プログラム 定員 25名

研修プログラムは右記の
パターン1～4の4コースより
選択していただけます。

パターン 1	AWAすだちプログラム(定員16名)
パターン 2	メディカルゾーン重点研修プログラム(定員5名)
パターン 3	産婦人科研修プログラム(定員2名)
パターン 4	小児研修プログラム(定員2名)

特徴

- Only Oneの研修“オーダーメイドローテーション”
- 専門医研修や卒前教育とも連携している全国に及ぶ協力病院
- 地域医療研修(徳島県内)の充実

徳島大学病院

横断的研修:複数の診療科と多職種連携による指導

- 脳卒中(脳卒中センター) ● 超音波(超音波センター)
- リハビリ(リハビリテーションセンター) ● 感染(感染制御部) (*3)

(*3) 感染研修は内科外来・感染研修や呼吸器・膠原病内科、血液内科、救急集中治療科、脳卒中センター、総合診療部での研修中に定期的研修があります。

院内における研修に関連するチーム医療

- 患者支援センター ● 感染制御部 ● 安全管理部 ● 栄養サポートチーム(NST)
- 緩和ケアチーム ● 排尿ケアチーム ● 口腔管理センター(口腔ケア)等

徳島大学病院における研修 研修期間は診療科や研修時期等で異なりますが、基本は4週あるいは8週のブロック研修です。

内科(必修)	救急(必修)	小児科(必修)
循環器内科	救急集中治療科	小児科(*3)
呼吸器・膠原病内科	麻酔科(*2)	NICU
消化器内科	外科(必修)	産婦人科(必修)
腎臓内科	心臓血管外科	産婦人科
血液内科	食道・乳腺甲状腺外科	精神科(必修)
内分泌・代謝内科	呼吸器外科	精神神経科(*4)
脳神経内科	消化器・移植外科	
選択		
循環器内科	整形外科	放射線科
呼吸器・膠原病内科	皮膚科	救急集中治療科
消化器内科	形成外科・美容外科	病理診断科
腎臓内科	脳神経外科	脳卒中(脳卒中センター)
血液内科	麻酔科	超音波(超音波センター)
内分泌・代謝内科	精神神経科	リハビリ(リハビリテーション部)
脳神経内科	小児科	内科外来・感染(*5)
総合診療部(*1)	産婦人科	

徳島大学病院での研修(地域医療研修を含む)は1年(52週)以上が必須

(*1) 総合診療部: ■ 一般外来の他、チーム医療や在宅医療、検診等を研修することができます。

(*2) 麻酔科: ■ 4週の研修期間を救急研修として含むことができます。

(*3) 小児科: ■ 徳島赤十字ひのみね総合療育センターで児童精神発達障害等を研修することができます。
■ つるぎ町立半田病院で小児の一般外来や予防接種等を研修することができます。

(*4) 精神神経科: ■ 藍里病院や第一病院で依存症の短期研修ができます。

(*5) 内科外来・感染(週単位): ■ 内科外来(一般外来、渡航外来を含む)の研修ができます。
■ 内科外来(一般外来、渡航外来を含む)の研修ができます。
■ 感染を主とする症例検討会や抗菌薬カンファレンス、ICTラウンド等に参加します。
■ 院内の様々なチーム医療を経験できます。
■ 院外(徳島県徳島保健所等)での感染研修もあります。

パターン 1 AWAすだちプログラム 定員 16名

[プログラム責任者: 門田 宗之]

徳島大学病院と徳島県内や四国内のみならず全国の協力病院とのコラボレーションが可能なプログラムです。将来の進路やステップアップにつなげていくために、大学病院や協力病院の研修内容・時期を自由に選択できます。厳選された協力病院(研修期間≤1年まで、複数選択可能)は全国に及んでおり、プライマリケアから高度先進医療まで幅広く学ぶことができます。たすき掛けで大学病院以外から研修をスタートすることも可能です。

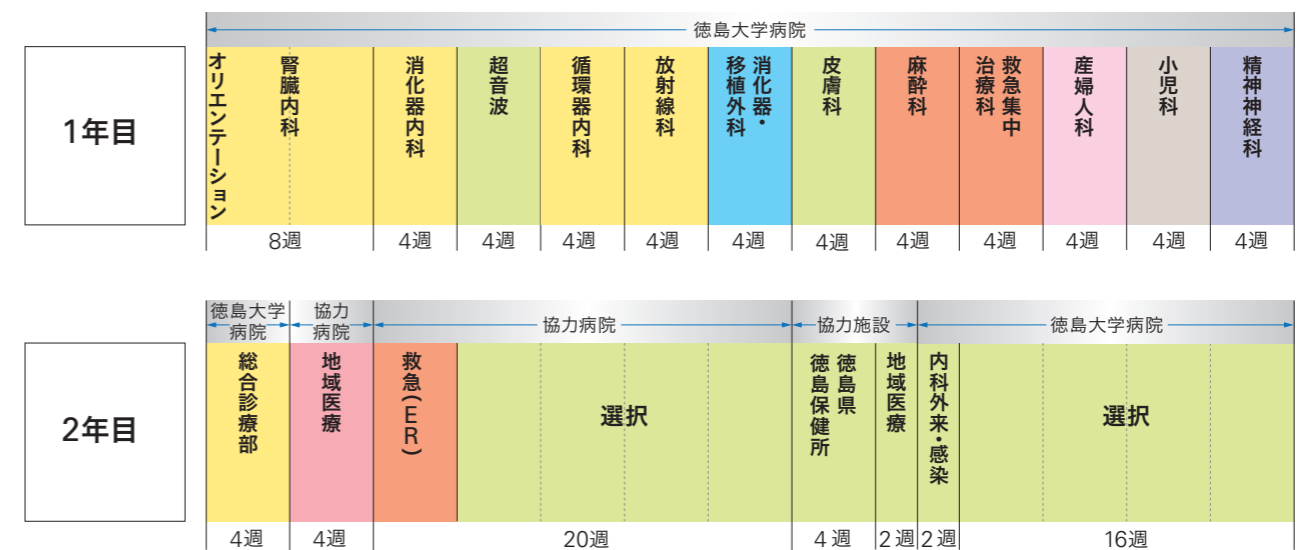
研修プログラム構成

1年目						2年目		
内科	救急(*1)	外科	小児科	産婦人科	精神科	選択	地域医療(*2)	選択
24週	12週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	44週

(*1) 救急: 麻酔科4週を救急研修に組み込むことができます。

(*2) 地域医療(2年目から): 最大12週(選択を含め)まで研修することができます。

研修ローテーション(例)



協力病院・施設については9ページを参照

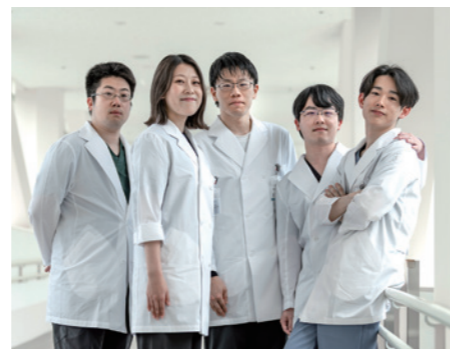
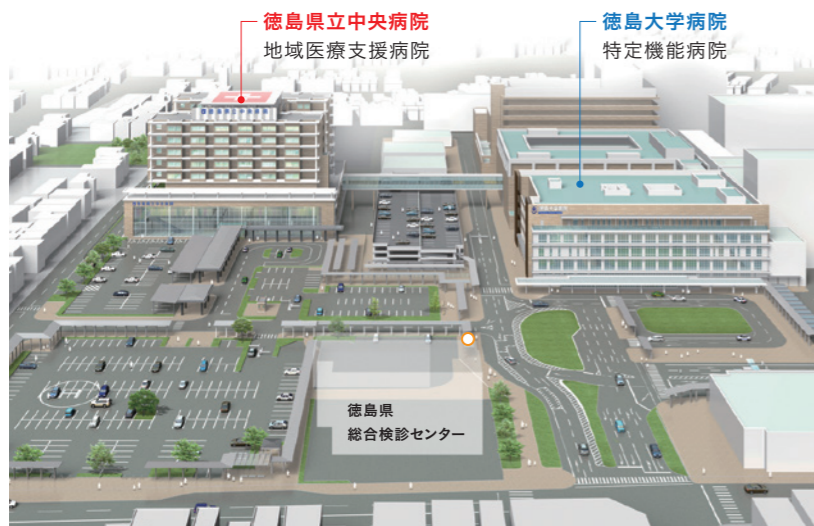


パターン 2 **メディカルゾーン重点研修プログラム** 定員 5名

[プログラム責任者：門田 宗之]

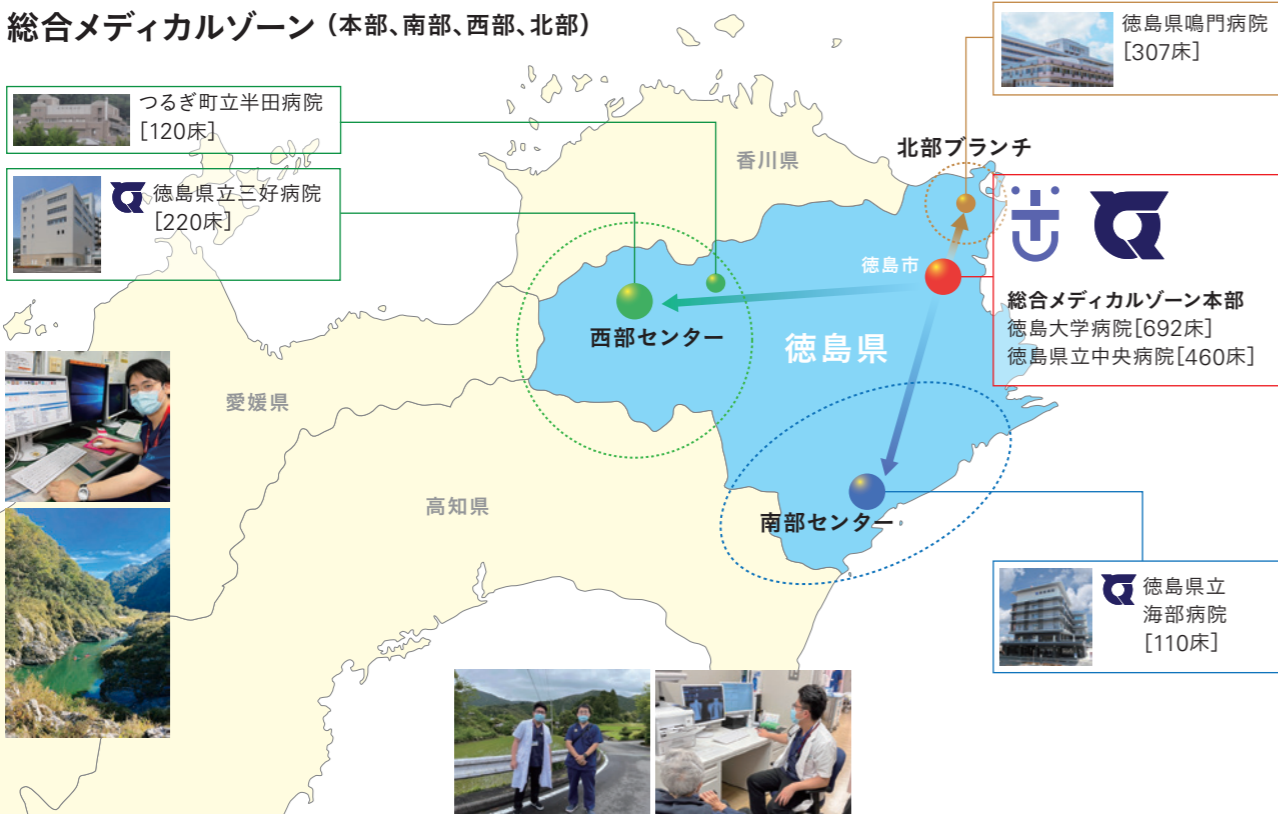
徳島県の医療拠点(総合メディカルゾーン)の中核である、徳島大学病院と徳島県立中央病院を主軸とした一体化研修で、両病院の機能分化を活かすことにより、さらに幅広い豊富な症例を経験できます。また、地域医療研修や選択研修等では、総合メディカルゾーンの南部・西部センター病院群や徳島県内での臨床研修病院との連携を強化し、徳島県の医療全体に対する理解を深めることが可能です。将来の地域医療を牽引する医師が育っています。

日本唯一の地理的条件(徳島大学病院と徳島県立中央病院が隣接している)を活かし、両病院間に連絡橋が架けられています。



2019年2月に敷地が一体化された徳島大学病院と徳島県立中央病院
○ = 総合メディカルゾーン バス停

総合メディカルゾーン(本部、南部、西部、北部)



プログラム構成 “オール徳島で医療人を育成します”

メディカルゾーン(MZ)本部の研修

期間:徳島大学病院(*1) + 徳島県立中央病院など(*2)(≧24週)

(*1)徳島大学病院での研修(地域医療研修:8週~12週を含む):1年(52週)以上

(*2)徳島県立中央病院、徳島県立海部病院、徳島県立三好病院、徳島県鳴門病院

徳島大学病院の研修においては、**融合研修**(※)(≧4週)が選択できる

(※)融合研修とは、徳島大学病院で研修しながら徳島県立中央病院でも研修を行います。

融合研修が選択できる診療科

- 外科 (消化器・移植外科、食道・乳腺甲状腺外科、呼吸器外科、心血管外科) ■ 泌尿器科 ■ 整形外科 ■ 麻酔科 ■ 病理 ■ 精神神経科

徳島県内における他の協力病院でも研修可能

徳島県	内科	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択
	24週	12週	4週	4週	4週	4週	8週	44週
MZ本部	徳島大学病院- 徳島県立中央病院							徳島大学病院- 徳島県立中央病院
MZ南部	徳島県立海部病院		徳島県立海部病院				徳島県立海部病院	徳島県立海部病院
MZ西部	徳島県立三好病院	徳島県立三好病院	徳島県立三好病院				徳島県立三好病院	徳島県立三好病院
研修病院		徳島県鳴門病院 徳島赤十字病院 田岡病院		つるぎ町立半田病院	つるぎ町立半田病院		つるぎ町立半田病院	徳島市民病院 徳島健生病院 徳島県鳴門病院 吉野川医療センター 徳島赤十字病院 阿南医療センター 地域医療協力病院・施設 国立保健医療科学院
	※		※	※	※	※		

*MZ = メディカルゾーン *徳島大学病院以外の研修については、病院により診療科が限定される場合があります。

徳島県立中央病院における救急研修は、ERから入院までの一貫研修もできます。

※ 内科、外科、小児科、産婦人科、精神科は9ページ~(徳島県内)の協力病院での研修が可能です。

地域医療研修 (2年目から)	必修(8週)	メディカルゾーン(MZ)南部・西部の3病院に限定 病院や期間を柔軟に選択できます。
	選択	上記3病院の他に、協力病院・施設(9ページ~)で研修できます。

研修ローテーション(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	大学	大学	大学	三好病院	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学
				県中	県中	県中	県中	県中	県中	県中	県中	県中
	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科	超音波	救急ER	精神科	麻酔科	救急ER	救急ER	外科	脳卒中	小児科
2年次	大学	大学	半田病院	大学	海部病院	三好病院	大学	協力施設	県内協力病院			
	県中	県中	県中	県中	県中	県中	県中	県中	選択			
	消化器内科	整形外科	産婦人科	総合診療部*	地域医療	地域医療	病理	地域医療	選択			

大学 = 徳島大学病院、県中=徳島県立中央病院

最初の3ヶ月(オリエンテーションを含む)は徳島大学病院で研修し、その後は徳島大学病院・徳島県立中央病院等の研修を適宜選択できます(赤:融合研修)。

パターン 3 産婦人科研修プログラム 定員 2名

[プログラム責任者：岩佐 武]

産婦人科専門医を目指す研修医を対象に、必要と思われる研修が有効的、かつ効率的に行えるプログラムです。1年目は大学病院や協力病院での研修で、主に産婦人科医として最低身につけておきたい他科の知識や手技の習得を行い、2年目は産婦人科に特化し、産婦人科医療の基本的な事柄をバランスよく研修します。また、希望により産婦人科と関連の深い診療科の研修を組み込むことも可能です。選択研修では、産婦人科における各分野の指導医のもとで、専門的なレベルを含めた研修を行うことも可能です。

1年目		2年目						
内科	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科	選択	地域医療	選択 (産婦人科、NICU 等)
24週	12週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	44週
大学病院 協力病院	大学病院 協力病院	協力病院 大学病院	協力病院 大学病院	大学病院	協力病院	協力病院	施設 協力病院	大学病院 協力病院 (*1)

(*1)主に下記の産婦人科協力病院で研修

- 徳島県立中央病院(徳島) ■ 徳島市民病院(徳島) ■ 徳島赤十字病院(徳島) ■ 徳島県鳴門病院(徳島)
- 阿南医療センター(徳島) ■ 吉野川医療センター(徳島) ■ つるぎ町立半田病院(徳島) ■ 徳島県立三好病院(徳島)
- (国立)四国こどもとおとなの医療センター(香川) ■ 高松市立みんなの病院(香川) ■ (国立)高知病院(高知)
- 四国中央病院(愛媛) ■ 札幌東豊病院(北海道) 等

その他の協力病院・施設については9ページを参照



パターン 4 小児研修プログラム 定員 2名

[プログラム責任者：漆原 真樹]

小児科や小児外科などの小児の診療に携わりたい研修医が対象です。1年目は成人まで含めた基本的な臨床能力を養います。2年目は小児医療に特化して、感染症などのCommon diseaseから小児救急対応、慢性疾患の管理まで経験します。地域医療研修では、予防接種、乳児健診、新生児管理等地域に根ざした小児医療を主体的に経験することができます。小児医療には小児の特性の理解、幅広い知識と技術の習得が必要で、このプログラム研修により、3年目以後の高度な専門医研修へのスムーズな移行が可能になります。

1年目		2年目						
内科	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科	選択	地域医療	選択 (小児科、その他(*1))
24週	12週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	44週
大学病院 協力病院	大学病院 協力病院	協力病院 大学病院	大学病院	協力病院	協力病院	協力病院 施設	施設 協力病院	大学病院 協力病院・施設 (*2)

(*1)NICU、小児外科、小児心臓血管外科、児童精神等

(*2)主に下記の小児科協力病院・施設で研修

協力病院

- 徳島県立中央病院(徳島) ■ 徳島市民病院(徳島) ■ 徳島赤十字病院(徳島) ■ 徳島県鳴門病院(徳島)
- 吉野川医療センター(徳島) ■ つるぎ町立半田病院(徳島) ■ 高松赤十字病院(香川)
- (国立)四国こどもとおとなの医療センター(香川) ■ 高知赤十字病院(高知) 等

協力施設(徳島)

- かさまつ在宅クリニック ■ 田山チャイルドクリニック ■ 徳島赤十字ひのみね総合療育センター

その他の協力病院・施設については9ページを参照



必修研修

協力病院 (病院名:一部略称)

	内科	救急	外科
徳島 東部 (市内)	徳島県立中央病院	川島病院	徳島県立中央病院
	徳島市民病院	伊月病院	徳島市民病院
	徳島健生病院		徳島健生病院
	博愛記念病院		
東部 (市外)	田岡病院	田岡病院	田岡病院
	徳島県鳴門病院	徳島県鳴門病院	徳島県鳴門病院
	吉野川医療センター	吉野川医療センター	吉野川医療センター
	(国立)とくしま医療センター西病院 (国立)とくしま医療センター東病院		(国立)とくしま医療センター東病院
南部	徳島赤十字病院	徳島赤十字病院	徳島赤十字病院
	阿南医療センター	阿南医療センター	阿南医療センター
	徳島県立海部病院		徳島県立海部病院
西部	徳島県立三好病院	徳島県立三好病院	徳島県立三好病院
	つるぎ町立半田病院		つるぎ町立半田病院
香川	高松市立みんなの病院	高松市立みんなの病院	高松市立みんなの病院
	高松赤十字病院	高松赤十字病院	高松赤十字病院
	(国立)四国こどもとおとなの医療センター	(国立)四国こどもとおとなの医療センター	(国立)四国こどもとおとなの医療センター
愛媛	愛媛県立中央病院	HITO病院	愛媛県立中央病院
	四国中央病院		HITO病院 四国中央病院
高知	(国立)高知病院	JA高知病院	(国立)高知病院
	高知医療センター	近森病院	高知医療センター
	高知赤十字病院		近森病院 高知赤十字病院
四国外	斗南病院(北海道)	斗南病院(北海道)	斗南病院(北海道)
	釧路孝仁会記念病院(北海道)	釧路孝仁会記念病院(北海道)	釧路孝仁会記念病院(北海道)
		日本医科大学付属病院(東京)	
	聖隷浜松病院(静岡)	聖隷浜松病院(静岡)	聖隷浜松病院(静岡)
	枚方公済病院(大阪)	枚方公済病院(大阪)	枚方公済病院(大阪)
	吹田徳洲会病院(大阪)	吹田徳洲会病院(大阪)	吹田徳洲会病院(大阪)
	宝塚市立病院(兵庫)	宝塚市立病院(兵庫)	宝塚市立病院(兵庫)
	日赤和歌山医療センター(和歌山)	日赤和歌山医療センター(和歌山)	日赤和歌山医療センター(和歌山)
		川崎医科大学附属病院(岡山)	
		浦添総合病院(沖縄)	浦添総合病院(沖縄)

小児科	産婦人科	精神科
徳島県立中央病院	徳島県立中央病院	徳島県立中央病院
徳島市民病院	徳島市民病院	
		むつみホスピタル
		TAOKAこころの医療センター
		徳島県鳴門病院*
徳島県鳴門病院	徳島県鳴門病院	
吉野川医療センター	吉野川医療センター	
		藍里病院
徳島赤十字病院	徳島赤十字病院	
阿南医療センター	阿南医療センター	
つるぎ町立半田病院	つるぎ町立半田病院	
高松市立みんなの病院	高松市立みんなの病院	
高松赤十字病院	高松赤十字病院	
(国立)四国こどもとおとなの医療センター	(国立)四国こどもとおとなの医療センター	(国立)四国こどもとおとなの医療センター
愛媛県立中央病院	愛媛県立中央病院	愛媛県立中央病院*
	四国中央病院	
(国立)高知病院	JA高知病院	(国立)高知病院
高知医療センター		高知医療センター
高知赤十字病院		近森病院
斗南病院(北海道)*	斗南病院(北海道)*	斗南病院(北海道)*
聖隷浜松病院(静岡)	聖隷浜松病院(静岡)	
枚方公済病院(大阪)		
吹田徳洲会病院(大阪)	吹田徳洲会病院(大阪)	吹田徳洲会病院(大阪)*
宝塚市立病院(兵庫)		
日赤和歌山医療センター(和歌山)	日赤和歌山医療センター(和歌山)	
川崎医科大学附属病院(岡山)		

*:協力病院の連携病院で研修を行います。



選択研修

協力病院 (病院名:一部略称)

	選択			
徳島 東部 (市内)	徳島県立中央病院	川島病院		
	徳島市民病院	伊月病院		
	徳島健生病院	徳島県徳島保健所*		
	博愛記念病院			
	田岡病院			
東部 (市外)	徳島県鳴門病院			
	吉野川医療センター			
	(国立)とくしま医療センター西病院			
	(国立)とくしま医療センター東病院			
南部	徳島赤十字病院	徳島赤十字ひのみね総合療育センター		
	阿南医療センター			
	徳島県立海部病院			
西部	徳島県立三好病院			
	つるぎ町立半田病院			
香川	高松市立みんなの病院	香川県立白鳥病院		
	高松赤十字病院			
	(国立)四国こどもとおとなの医療センター			
愛媛	愛媛県立中央病院	今治第一病院	HITO病院	
	四国中央病院	松山赤十字病院		
高知	(国立)高知病院	JA高知病院		
	高知医療センター	近森病院(高知)		
	高知赤十字病院			
四国外	札幌東豊病院(北海道)	吹田徳洲会病院(大阪)	堺平成病院(大阪)	
	釧路孝仁会記念病院(北海道)	宝塚市立病院(兵庫)	平成横浜病院(神奈川)	国立保健医療科学院(埼玉)*
	斗南病院(北海道)	日赤和歌山医療センター(和歌山)		
	日本医科大学付属病院(東京)	川崎医科大学附属病院(岡山)		
	聖隷浜松病院(静岡)	福岡市民病院(福岡)		
	枚方公済病院(大阪)	浦添総合病院(沖縄)		

(*) 公衆衛生の研修ができます。

協力病院によっては、研修できる診療科や期間が限定されます。詳細はホームページ(<https://www.tokudai-sotsugo.jp/>)をご覧ください。



地域医療研修(必修・選択)

・徳島県内全域にわたり、地域特異性の研修ができる多種多様の協力病院・施設があります。

・研修期間は4週から最大12週まで研修可能です。(メディカルゾーン重点研修プログラムは8週以上が必須)

・一般外来や在宅医療、医療・介護・保健・福祉に係わる施設や組織との連携、地域包括ケアシステム等の研修ができます。

協力病院・施設 (病院名・施設名:一部略称)

徳島県 (医療圏)	必修(4週)	選択(週単位)(*1)			
東部 (市内)	<ul style="list-style-type: none"> 伊月病院 田岡病院 水の都記念病院 近藤内科病院 	<ul style="list-style-type: none"> 伊月病院 城南病院 東洋病院 かさまつ在宅クリニック 徳島県総合健診センター 	<ul style="list-style-type: none"> 亀井病院 田岡病院 水の都記念病院 徳島県徳島保健所 近藤内科病院 	<ul style="list-style-type: none"> たまき青空病院 おた在宅クリニック 田山チャイルドクリニック(*2) 徳島市医師会(*3) 	
	<ul style="list-style-type: none"> 鳴門山上病院 	<ul style="list-style-type: none"> 稲次病院 	<ul style="list-style-type: none"> 手束病院 	<ul style="list-style-type: none"> このINRクリニック 	
南部	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県立海部病院 上那賀病院(*4) 美波病院 海南病院 	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県立海部病院 木頭診療所 上勝町診療所 	<ul style="list-style-type: none"> 上那賀病院(*4) 木沢診療所 穴喰診療所 	<ul style="list-style-type: none"> 日野谷診療所 徳島赤十字ひのみね総合療育センター 海南病院 	
	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県立三好病院 三野病院 木屋平診療所 つるぎ町立半田病院 	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県立三好病院 つるぎ町立半田病院 	<ul style="list-style-type: none"> 三野病院 ハウエツ病院 	<ul style="list-style-type: none"> 木屋平診療所 西祖谷山村診療所 	

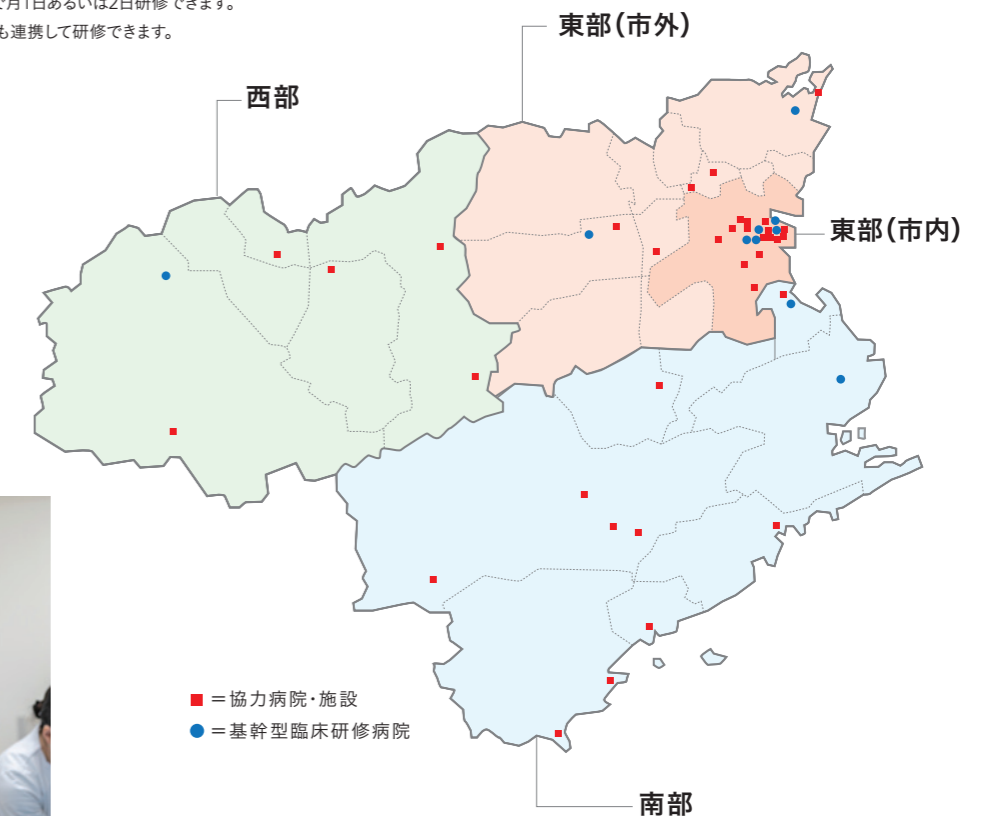
メディカルゾーン重点研修プログラムの必修研修は、太文字病院(選択可)限定で8週行います。

(*1) 病院・施設によって、研修できる期間が異なります。

(*2) 小児研修プログラムに限定となります。

(*3) とくしま在宅医療と介護の総合支援センターで月1日あるいは2日研修できます。

(*4) 日野谷診療所、木頭診療所、木沢診療所等とも連携して研修できます。



令和9年度 徳島大学病院研修医募集要項

募集定員

- パターン1 (AWAすだちプログラム) —— 16名
- パターン2 (メディカルゾーン重点研修プログラム) —— 5名
- パターン3 (産婦人科研修プログラム) —— 2名
- パターン4 (小児研修プログラム) —— 2名

応募資格

令和9年3月に医師免許を取得している者又は取得見込みの者でかつ医師臨床研修マッチングに参加する者

選考方法

小論文、面接試験(オンライン対応可)等により総合的に判定します。

出願書類等

下記の書類を一括して封筒に入れ、必ず「書留郵便」で送付または持参してください。

- ① 徳島大学病院臨床研修申込書(指定様式)
- ② 令和9年度徳島大学病院臨床研修願(指定様式)
- ③ 履歴書(指定様式) *履歴書の学歴は高校以上について記入してください。
- ④ 小論文(指定様式)
- ⑤ 成績証明書
- ⑥ 共用試験医学系CBT成績表(本試)の写し
※ ①、②、③、④の指定様式は徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページからダウンロードしてください。

応募締切

- 第1回 応募締切 令和8年8月5日(水) 必着
- 第2回 応募締切 令和8年8月19日(水) 必着

選考日

- 第1回 令和8年8月14日(金)
- 第2回 令和8年8月26日(水)

*選考日、集合場所、時間については応募者へメールで連絡します。
*上記選考日について、全て都合が悪い場合は、下記までお問い合わせください。

出願書類提出先・問い合わせ先

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1
徳島大学病院 卒後臨床研修センター
TEL: 088-633-9359 / FAX: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
ホームページ: <https://www.tokudai-sotsugo.jp/>



研修医の処遇

- ① 身分：有期雇用職員[医員(研修医)]
- ② 給与：
 - AWAすだちプログラム、産婦人科研修プログラム、小児研修プログラム
基本給 日給9,575円×勤務日数
研修医手当、超過勤務(前年度実績)を含めて、約500万円
※協力病院で雇用される場合は各病院の給与規定に従います
 - メディカルゾーン重点プログラム
基本給 日給9,575円×勤務日数
研修医手当、超過勤務(前年度実績)を含めて、約525万円
- ③ 手当：夜間診療手当16,000円、時間外手当、通勤手当等
- ④ 宿舍：院内職員宿舍あり
- ⑤ 勤務時間：1日7時間45分(午前8時30分～午後17時15分 休憩1時間含む)
- ⑥ 休日：毎週土曜、日曜、国民の祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)
- ⑦ 休暇：有給休暇21日(採用日に5日、さらに6ヶ月継続勤務後5日、さらに6ヶ月継続勤務後11日)、特別休暇(リフレッシュ休暇)3日
- ⑧ 保険等：文部科学省共済組合(短期)、厚生年金保険及び雇用保険に加入
- ⑨ 医師賠償責任保険：病院としての加入あり(個人加入は任意)
- ⑩ 学会出張費支給あり
- ⑪ 定期健康診断年1回(特殊業務従事者は年2回)
- ⑫ その他：医師臨床研修制度に関する法令等に基づき、副業(いわゆるアルバイト)は禁じます

研修環境

卒後臨床研修センターは、常によりよい研修環境で充実した研修の場を提供します。

- 研修医室にはセキュリティーシステムがあり、電子カルテ、PG-EPOC入力のコンピューター、スキャナー、図書、コピー機、シュレッダーなどを常備しています。
- 男女別に更衣室および休憩室を完備しています。
- 研修医それぞれに机と本棚、ロッカー、レターボックスが与えられます。
- 文献検索システム、Up To Date、シミュレーション学習ツールなどが院内・外で使用可能です。
- 多数のシミュレーターを有し、専属のインストラクターが勤務しているスキルラボにて実技実習が行えます。
- 敷地内保育所(NPO法人徳島大学あゆみの森保育園)があります。研修期間中の結婚、妊娠、出産、育児などもサポートします。

研修医教育講座

研修医の自主性を尊重し、全診療科が協力しています。

- 実践に役立つスキルアップセミナーや実技実習があります。
- 到達目標達成に必要な内容に対応しています。
- 大学病院以外の研修医も参加可能であり、他病院の研修医との交流の機会にもなります。
- 外国人講師による医学英会話レッスンを開催しています。



TOKUSHIMA Topics ①

令和6年度に創設された徳島県の「一時金支援制度」が、令和7年度拡充され、徳島県で研修を開始する全ての研修医が対象となっています。徳島での研修をご検討ください！

初期研修医一時支援金制度

支給対象者 — 徳島県内の初期臨床研修プログラム研修を行う方（徳島県内出身の方も対象です）

支給金額 — **100万円**（研修開始時に支給）

募集人員 — **60名**（特別地域枠・自治医科大学出身者は除く）

その他 — この支援金制度を利用した方が、引き続き「**県内の専門研修プログラム**」で、専門研修を受ける場合、**支援金200万円の支給を予定**しています



このチャンスを逃すな!

TOKUSHIMA Topics ②

徳島県臨床研修連絡協議会では、徳島県内で臨床研修や専門研修の実施を検討する、県外の医学生や医師の皆様が、徳島県内の基幹型臨床研修病院や専門研修基幹型施設を見学するための経費の一部を助成する「病院見学事業」があります。是非、徳島にお越しください！

まずは病院見学から始めてみませんか



徳島県病院見学支援事業の申し込みフォームはコチラ

ホームページURL
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kenko/iryo/7239068/>



みなさまのお越しをお待ちしています！

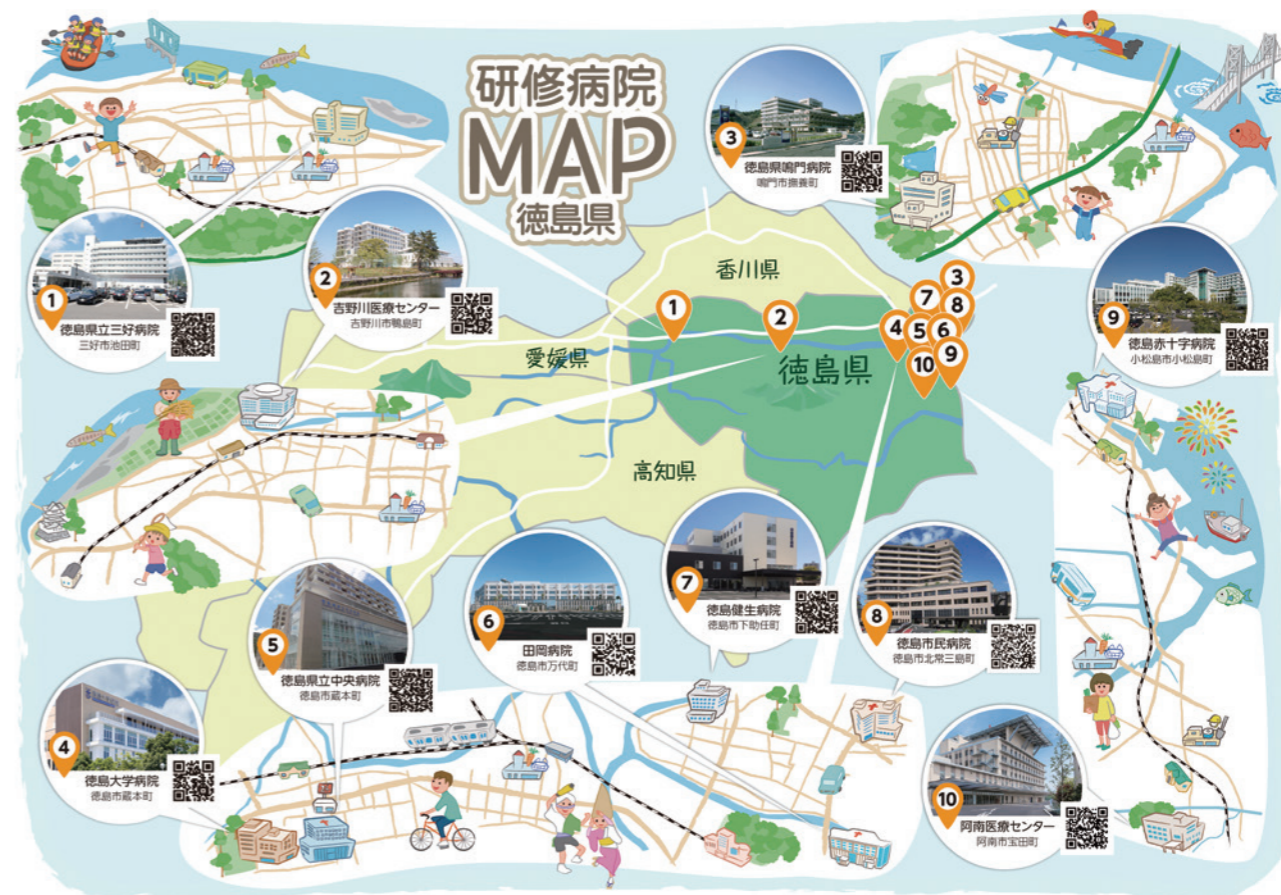
徳島県病院見学支援事業

- 実際に要した経費を負担
- 最大**4万円**まで支給
- 年間1回まで支給

TOKUSHIMA について

徳島では、「徳島県臨床研修病院協議会」を設置しています。県下全10の臨床研修病院、徳島県医師会、徳島県など臨床研修にかかわる関係者が、組織の垣根を越え、みなさんの研修を支えています。

令和9年度開始研修医の募集定員は、徳島県全体で77名。それぞれに魅力ある研修病院ですので、Topicsの病院見学事業などを活用するもよし、各イベント、説明会なども企画がありますので、各病院ホームページもご覧ください。徳島大学病院基幹臨床研修プログラムでは、県下臨床研修病院全てに協力型臨床研修病院に加わっていただいています。たすき掛けで県外の研修病院、県内もそれが行える、自由度の高い研修は、研修医に好評です！



令和7年4月19日徳島県医師会主催～徳島県新人研修医歓迎の集いより～ 後藤田知事もお越しでした！ 令和8年度は4月25日に開催されました